

週間市場レポート (2021年2月15日~2月19日)

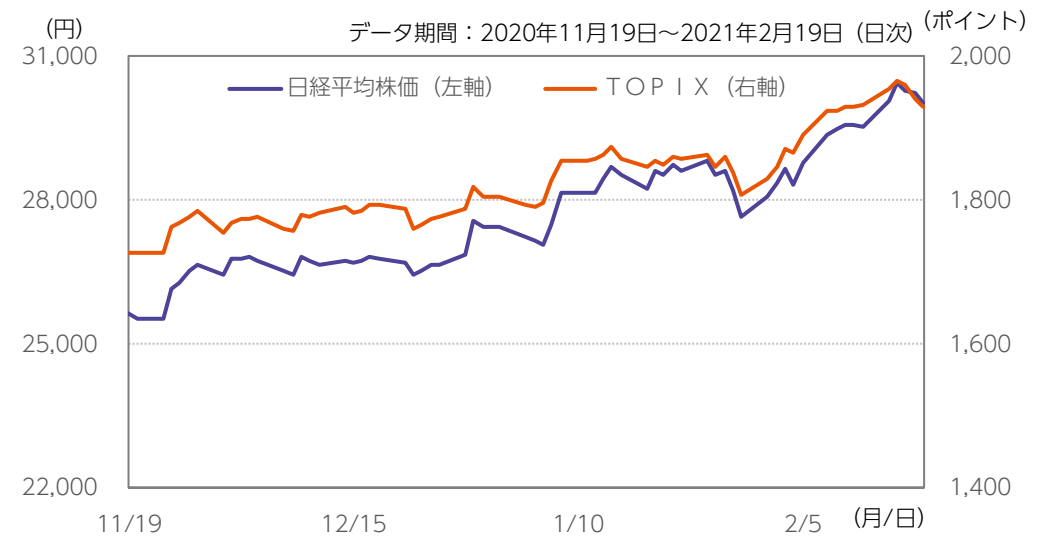
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/2/12	先週末 2021/2/19	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		29,520.07	30,017.92	1.69
TOPIX (東証株価指数)		1,933.88	1,928.95	▲0.25
ダウ工業株30種平均 (ドル)		31,458.40	31,494.32	0.11
S&P500種指数		3,934.83	3,906.71	▲0.71
ユーロ・ストックス50指数		3,695.61	3,713.46	0.48
S&P/ASX300指数		6,795.70	6,782.17	▲0.20
上海総合指数		3,655.09	3,696.17	1.12
MSCI AC アジア (除く日本)*		1,134.87	1,137.29	0.21
東証REIT指数		1,926.10	1,939.11	0.68
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		747.03	740.31	▲0.90
ASX300 REIT 指数		1,383.40	1,338.70	▲3.23
グローバルREIT (除く日本)*		178.74	176.80	▲1.08
日本10年国債 (%)		0.068	0.109	0.041
米国10年国債 (%)		1.208	1.336	0.128
ドイツ10年国債 (%)		▲0.428	▲0.305	0.123
英国10年国債 (%)		0.517	0.698	0.181
ドル/円		104.94	105.45	0.49
ユーロ/円		127.16	127.79	0.50
英ポンド/円		145.47	147.75	1.57
豪ドル/円		81.43	82.98	1.90
フィラデルフィア半導体指数		3,219.87	3,223.46	0.11
WTI原油先物 (ドル)		59.47	59.24	▲0.39
CRB指数		185.29	188.62	1.80
アレリアンMLP指数		918.32	915.71	▲0.28

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。新型コロナウイルスのワクチン普及による国内景気の回復期待や、経済対策成立で米国景気が早期に回復期待するとの期待などから週初より上昇し、15日（月）の日経平均株価の終値は、1990年8月以来およそ30年半ぶりに3万円を超えました。その後は、高値警戒感から利益確定目的の売りに押され、週末まで3日連続で下落となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

※現地通貨ベース *1 ▲はマイナスを表します。 *2上海総合指数は春節（旧正月）連休中のため、2021年2月10日の価格を掲載。

≪ 債券 ≫

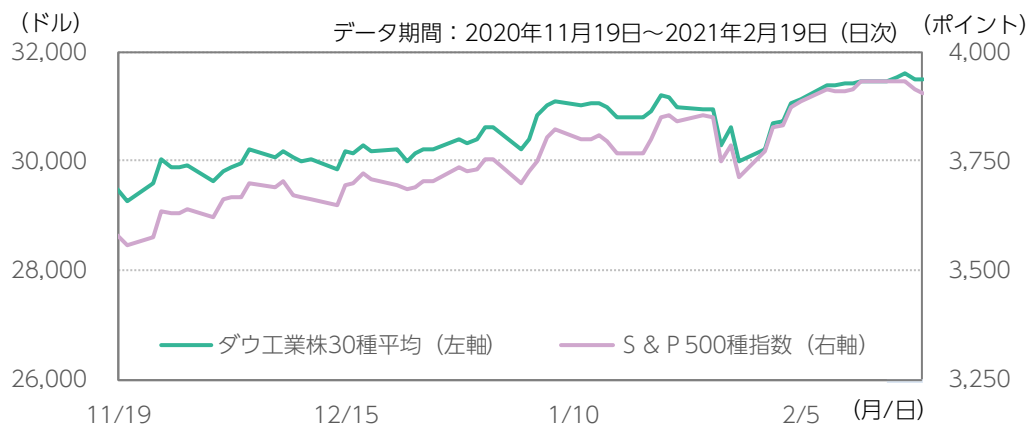
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。米国景気が早期に回復するとの期待などから米長期金利が上昇した流れを受け、国内金利も週を通じて上昇基調となりました。19日（金）は節目となる0.1%を超え、2018年11月以来、2年3カ月ぶりの高水準となりました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

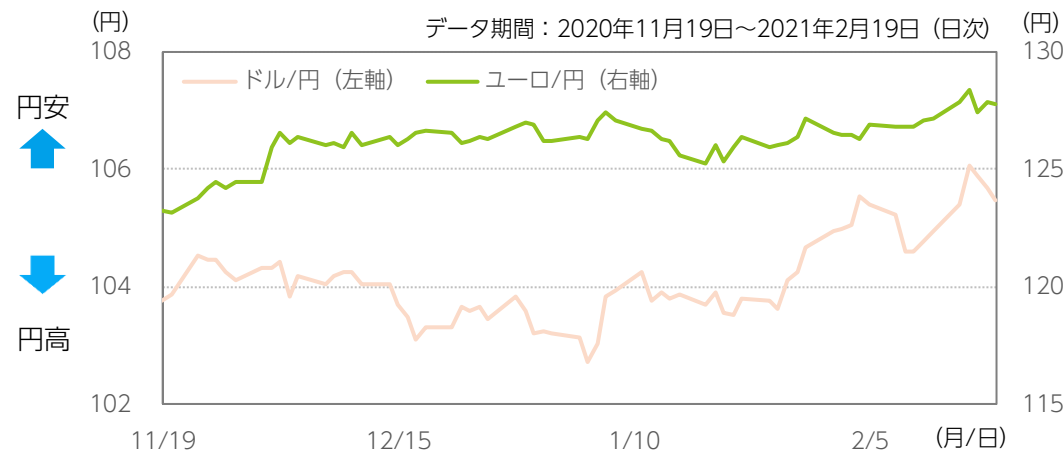
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で横ばいとなりました。追加経済対策の早期成立期待や良好な経済指標などを背景に、週初より2日連続で上昇しました。週末にかけては、足元で上昇が目立っていたハイテク株を中心に利益確定目的の売りに押されました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。週初は、米国景気が早期に回復するとの期待などから米長期金利が上昇し、日米の金利差を意識した円売り米ドル買いが優勢となりました。週央以降は、連日で米ドル高が進んでいたことから、持ち高調整の円買い米ドル売りが優勢となったものの、週間では円安米ドル高となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、米国で大型の経済対策が早期に成立するとの期待などから上昇してスタートしたものの、週末にかけて高値警戒感から利益確定売りに押される展開となりました。

ワクチンの普及とロックダウン（都市封鎖）などの感染抑制策により、米国の新規感染者数と入院者数が減少傾向にあります。バイデン米大統領は、1日あたり150万回の接種を当面の目標として掲げています。11日には、ファイザーおよびモデルナとワクチン各1億回分の供給契約を結び、当初予定より早く供給が可能となるとの見方を示しました。国内でも、医療従事者を中心に接種が開始され、今後の感染抑制と経済活動の正常化に期待が高まります。

今週の日米株式市場は、企業の決算発表が一巡し業績等の新情報が少なくなるなか、材料難から方向感に乏しい展開となりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>